

佐藤美枝子

Mieko Sato(Soprano)

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、イタリアに留学。

留学中1996年、第7回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、1997年より(財)五島記念文化財団の奨学生としてさらに2年間イタリアで研鑽を積む。

1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞、世界の注目を集める。その他、第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞をはじめ国内外のコンクールに入賞。

1995年、イタリア・ローマにて「リゴレット」のジルダでオペラ・デビュー。イタリアで研鑽の傍ら、1999年、新国立劇場に「カルメン」のミカエラでデビュー。その後藤原歌劇団にて2000年に「ルチア」のタイトルロールでデビューを飾り、絶賛を博した。2003年には、ブルガリアのソフィア国立歌劇場に招かれ「ランメルモールのルチア」と「リゴレット」を主演し、大絶賛を博した。また、同年、得意とする「ランメルモールのルチア」のハイライト版「幻想のルチア」(演出：岩田達宗)が佐藤美枝子のために創作され、愛知で初演、その後も各地で上演され話題を呼んだ。オペラのほか、リサイタル、マラー：「復活」(インバル指揮フィルハーモニア管)、オルフ：「カルミナ・ブラーナ」など各種コンサートに出演しており、2009年、「イオランタ」(コンサート形式、フェドセエフ指揮/モスクワ放送交響楽団)のタイトルロールでは、感情豊かな表現力で感動を呼び、高い評価を得た。2011年3月東京(藤原歌劇団公演)、2012年9月名古屋(愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ)においてオペラ「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで、2015年2-3月には錦織健プロデュース・オペラ第6弾モーツァルト「後宮からの逃走」にコンスタンツェ役で出演、好評を博した。近年は、「ドン・パスクアーレ」ノリーナ、プーランク「人間の声」、「ラ・ボエーム」ミミ、「春琴抄」の春琴、「夕鶴」のつうなどの新役に挑戦し、いずれも好評を博し、日本を代表するソプラノとして華々しく活躍している。

CDはビクターエンタテインメントより「至上のルチア」「アリア」「さくら横ちょう」「チャイコフスキー歌曲集」「千の風になって」「ああ、信じられないわ〜オペラ・アリア集」「チャイコフスキー歌曲集II」の7枚がリリースされている。

第9回出光音楽賞、第2回ロシア歌曲賞、第10回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞の各賞を受賞。

武蔵野音楽大学大学准教授、大分県立芸術文化短期大学客員教授。藤原歌劇団団員。

(2018年9月現在、1100字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

佐藤美枝子

Mieko Sato(Soprano)

武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、イタリアに留学。留学中1996年、第7回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、1997年より(財)五島記念文化財団の奨学生としてさらに2年間イタリアで研鑽を積む。1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞、世界の注目を集める。その他、第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞をはじめ国内外のコンクールに入賞。1995年、イタリア・ローマ市マンツォーニ劇場「リゴレット」のジルダでオペラ・デビュー。それ以後、国内外の数多くのオペラに出演。2003年、ブルガリアのソフィア国立歌劇場に招かれ「ランメルモールのルチア」と「リゴレット」を主演し、大絶賛を博した。また、同年、得意とする「ランメルモールのルチア」のハイライト版「幻想のルチア」(演出:岩田達宗)が佐藤美枝子のために創作され、愛知で初演、その後も各地で上演され話題を呼んでいる。オペラのほか、リサイタル、マラー:「復活」(インバル指揮フィルハーモニア管)、オルフ:「カルミナ・ブラーナ」など各種コンサートに出演しており、2009年、「イオランタ」(コンサート形式、フェドセエフ指揮/モスクワ放送交響楽団)のタイトルロールでは、感情豊かな表現力で感動を呼び、高い評価を得た。CDはビクターエンタテインメントより「至上のルチア」「アリア」「さくら横ちょう」「チャイコフスキー歌曲集」「千の風になって」「ああ、信じられないわ〜 オペラ・アリア集」「チャイコフスキー歌曲集II」がリリースされている。2011年3月東京(藤原歌劇団公演)、2012年9月名古屋(愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ)においてオペラ「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで、2015年2-3月には錦織健プロデュース・オペラ第6弾モーツァルト「後宮からの逃走」にコンスタンツェ役で出演、好評を博した。2016年には藤原歌劇団「ドン・パスクアーレ」ノリーナ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、プーランク「人間の声」、「ラ・ボエーム」ミミと新役に挑戦、意欲的な活動を続けている。

第9回出光音楽賞、第2回ロシア歌曲賞、第10回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞の各賞を受賞。藤原歌劇団団員。

(2018年9月現在、900字)

佐藤美枝子

Mieko Sato(Soprano)

武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、イタリアに留学。留学中、第7回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、1997年より(財)五島記念文化財団の奨学生としてさらに2年間イタリアで研鑽を積む。1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞、世界の注目を集める。その他、第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位をはじめ国内外のコンクールに入賞。CDはビクターエンタテインメントより「至上のルチア」「ああ、信じられないわ〜オペラ・アリア集」など7枚をリリース。2011年3月東京(藤原歌劇団公演)、2012

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

年9月名古屋（愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ）においてオペラ「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで、2015年2-3月には錦織健プロデュース・オペラ第6弾モーツァルト「後宮からの逃走」にコンスタンツェ役で出演、好評を博した。2016年には藤原歌劇団「ドン・パスクアーレ」ノリーナ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、プーランク「人間の声」、「ラ・ボエーム」ミミと新役に挑戦、意欲的な活動を続けている。藤原歌劇団団員。

(2018年9月現在、400字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

Mieko Sato (Soprano)

Mieko Sato graduated from the Musashino Academy of Music in Tokyo. After completing the 9th training course for opera singers at the Japan Opera Foundation, she went to Italy to continue her opera studies. While studying in Italy she was awarded the 7th Goto Memorial Culture Award for new opera singers in 1996. She extended her studies in Italy for two years from 1997 on a scholarship from the Goto Memorial Culture Foundation.

In 1998 Sato received international attention as the first Japanese to win 1st Prize in the voice division of the 11th International Tchaikovsky Competition. Among other prizes at competitions in Japan and abroad, she won three prizes (1st Prize in the voice division, the Masuzawa Prize and the Study Abroad Special Prize) at the 64th Japan Music Competition.

Mieko Sato made her opera debut in 1995, performing Gilda in “Rigoletto” in Rome, Italy. She has since appeared in many operas in Japan and other countries. In 1999, she made her debut as Micaela in “Carmen” at the New National Theatre, Tokyo. In 2000 she earned high praise for her debut in the title role of “Lucia di Lammermoor” with the Fujiwara Opera. In 2003 she was invited to appear in leading roles in “Lucia di Lammermoor” and “Rigoletto” at the Sofia National Opera in Bulgaria, and received high acclaim for her performances. In the same year, a highlights version of Sato’s specialty, “Lucia di Lammermoor,” was created for her under the title “Lucia in Fantasy” (directed by Tatsuji Iwata) and premiered in Aichi, Japan. Since then, the unique production has been presented in locations around Japan, always attracting much attention.

In addition to operas, Sato has performed in many recitals and a wide range of concerts including Mahler’s Symphony No. 2 “Auferstehung” with the Philharmonia Orchestra conducted by Eliahu Inbal, and Orff’s “Carmina Burana.” In 2009 she performed the title role in a concert version of “Iolanta” (with the Tchaikovsky Symphony Orchestra of Moscow Radio conducted by Vladimir Fedoseyev), moving listeners with the emotional richness of her expression and receiving high acclaim.

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Sato performed the title role in “Lucia di Lammermoor” with the Fujiwara Opera in Tokyo in March 2011 and in a production of the opera by the Aichi Arts Foundation in Nagoya in September 2012. In February-March 2015, she performed the role of Konstanze in Mozart’s “Die Entführung aus dem Serail,” the 6th opera project produced by Ken Nishikiori. She received high praise for all of these performances. In recent years she has taken on new roles including Norina in “Don Pasquale,” Poulenc’s “La Voix Humaine,” Mimi in “La Bohème,” Shunkin in “A Portrait of Shunkin,” and Tsu in “Yuzuru.” Her performances in all of these roles have been acclaimed as well, adding to her brilliant successes as one of Japan’s most renowned opera singers.

Mieko Sato has released seven CDs on Victor Entertainment: “La Lucia,” “Aria,” “Sakura Yokocho,” “Mieko Sato Sings Tchaikovsky,” “Sen no Kaze ni Natte,” “Opera Arias,” and “Mieko Sato Sings Tchaikovsky II.” She was the recipient of the 9th Idemitsu Music Award, the 2nd Russian Song Award, and the 10th Japan Steel Music Award for Fresh Artists.

Mieko Sato is an associate professor at Musashino Academy of Music, a visiting professor at Oita Prefectural College of Arts and Culture, and a member of the Fujiwara Opera Company.

2018/19 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

(September 2018)